

# 箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
箕面ユネスコ協会事務局  
〒562-0013  
箕面市坊島 4-5-20  
みのおキューズモール2Fみのお市民活動  
センター内 箕面ユネスコ協会（メールボックス）  
E-mail [sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp)

## ◆ 目次 ◆

- 箕面ユネスコ協会講演会・食を楽しむ会
- 気仙沼の食を楽しむ会に参加して
- 東北被災地を訪ねて
- 活動経過報告 10・お知らせ



♪ホームページ折々に更新中!

「箕面ユネスコ協会」  
で検索してください♡

## 報告! 満員御礼

### 箕面ユネスコ協会 2016 講演会「3・11を忘れない」菅原 昭彦さん

#### 第3回 気仙沼の食材とお酒を楽しむ会!

箕面ユネスコ協会講演会・第3回「気仙沼の食材お酒を楽しむ会」を2月6日（土曜日）「らいとぴあ21」で開催しました。気仙沼「男山本店」代表取締役菅原昭彦さんの講演から始まりました。被災を乗り越え社員とともに酒蔵を立て直したお話や酒造りへの思い、戻すだけではない創造的復興をめざし取り組んでいる気仙沼の今をお聞きしました。その後の会は、東北の珍



味や新鮮な魚介類を食べながら、楽しく美味しい交流会となりました。遠くは滋賀県や東京からも、多くの方に参加していただきました。会場は満杯…参加最年少は2歳! 家族参加もあり、とても賑やかでした。皆さんの笑顔★5です



## 「気仙沼の食材お酒を楽しむ会」に参加して

気仙沼の酒造業者「男山本店」代表取締役で、気仙沼商工会議所会頭として震災からの創造的復興のために奮闘されている菅原昭彦さんを箕面ユネスコ協会の初めての講演会にお迎えした。

らいとぴあの講演会会場の右前には「男山本店」の銘酒がいくつか置かれている。鹿児島出身である私は、郷土びいきか長年、芋焼酎を中心に酒を飲んで来たが、最近、日本酒が好きになり良く飲んでいる。「男山」の名前は知っていたがまだ飲んだことがなく、思わず、酒が置いてあるテーブルに近寄っていった。

講演会后、この酒を飲めるのかと思うと心がワクワクしてくる。我ながら、なんと不真面目な向き合い方かと思いつつ…。講演会では、菅原さんから、気仙沼の震災後の現状や復興へ向けての活動内容や思いを、私たちに伝わるように丁寧にお話をいただいた。

気仙沼は、漁業が盛んで自然豊かな風光明媚な所にあり、観光で訪れる人も多かったが2014年でも震災前の半数以下とのことである。人口の減少への対応や復興へ向けて、産業施設の整備や人材育成、地元産業の高度化、新産業創出等に積極的に取り組んでおられ、成果もあるが依然として課題も大きいとのことである。菅原さんは、復興に際して「市民参加」「あったかい町づくり」「力を結集する仕組み」「地域の実情」が大切だと話されていた。国、県、市、民間組織、ボランティア等、様々な関わり、支援があるが、やはり、一番大切なことは、地元の人々の思い、願い、地域の現状、求めるものをふまえた関わり必要性だと教えていただいた。今、改めて振り返ってみると箕面ユネスコ協会が活動の中で大切にしていることとほとんど同じであることに気づかされる。私は、積極的に活動いただいている他の会員の後ろからついて行くだけの動きしか出来ていないが、お忙しい中、菅原さんが箕面の地までお越しいただき、直接、お話を伺えたことは大きな学びの場になり、これからのつながり、関わり方を考える機会を与えてもらい、ありがたかった講演後、菅原さんも参加いただいた「気仙沼のお酒と食を楽しむ会」で、美味しい肴と男山本店の酒を思う存分味わった。ワイワイ、ガヤガヤ、笑い声がそれぞれのテーブルから聞こえる本当に楽しい会であったが、一人ひとり、講演の話を心にとめた中での酒の席であったと思う。



講演会でいただいた資料に「お酒は人間の喜怒哀楽すべての場面に関わるもの」という言葉。このようにみんなで飲むのも楽しいが、今度「男山本店」の酒を置いている居酒屋へ行って、ゆっくり一人で飲んで見ようかな。その時は、私の「喜怒哀楽」どんな時？  
(南橋 正博)

← (毎年ご機嫌の筆者 (写真真ん中) です！ )

# 東北被災地を訪ねて（被災地訪問 報告2）

## 訪れてくれる人が活力です。

今回の行程で、出会うことの出来た東北の方々のすべてから聞かれた言葉です。

暮らしづくりの中村慎吾くんとの「石巻にいるうちに会いに行くから」という、ひっかかっていた約束を果たしに、震災から4年半後に初めて東北3県を訪問しました。

南相馬市小高区の希望の牧場までの耕作されていない田畑に、農業復興を願い、故郷に帰りたい現地の人たちの4年半に思いを馳せられました。

南相馬で生きることを選んだ人たちが、楽しく過ごせることを応援する「みんな共和国」で理事をつとめる岡崎義典さんの「みんな元気に暮らしています。南相馬を楽しみに来てほしい」という言葉の一方で「学校が遠くて行き帰りが迎えのため、子ども集団が成り立たない」「教職員は震災後、猛烈に忙しくなりました」などの課題も当然存在しています。

2日目は石巻市。何事もなかったように流れる北上川の側に、津波で壊された大川小学校の無残な校舎の向こうの街跡は、荒涼とした草地でした。その広さに声も出ませんでした。案内していただいた、仮設にっこりパーク自治会長、佐藤富士夫さんの「墓守として大事に育ててもらった。自分の代で家を絶やすわけにはいかない」と話されたことも忘れられません。佐藤さんの奥さんと二人のお孫さんが飲み込まれた集落跡は一軒の家も残っていませんでした。



南三陸町防災庁舎跡

南三陸町防災対策庁舎で、最後まで住民に避難を呼びかけ続けた遠藤未稀さんの実家を訪ねることが出来ました。お母さんから「やっと娘の絵や写真を飾れるようになりました。震災後はおとうさんと二人が生きていくだけの仕事だった。民宿を始め、未稀の家と名付けたのは、これからも娘の名前を呼び続けることが出来るから。震災後に出来たつながりで生きていける。忘れられることが一番つらい」、「辛いことには耐えられる。嬉しいことが半分になるのが悲しい。妹の結婚はめでたくて嬉しいことだけど、姉ちゃんが生きていたらと思ってしま。」と続けました。2階まで波に襲われた遠藤さんの家は、その

いに手がかけられていました。

石巻の日和山公園で出会った男性老人が「山頂に続く階段を必死で駆け上り命が助かった。まだ私が自宅に取り残されていると思った息子は、私を助けに戻り波にのまれた」と、その階段に目をやり、無念そうに話をされました。気仙沼でも建設途中の復興住宅の向こうの造成地の広さや、建て替えられたビルのすぐそばの交差点の反対側には、手つかずの店舗跡が残されたままです。そんな街並みが訪れた街々で見られました。そのたびにそこで生活していた人の今の暮らしぶりが気になりました。

1日目の希望の牧場で暮らす被爆した330頭の牛、2日目の遠藤さんの「保護した野良猫と話すのが、一番ホッとする時間です」というお話、民泊させていただいた菅原さん宅の3匹の猫と1匹の柴犬。その牛や犬猫のようすが、東北の現状を物語るものなんだと勝手に思ってしまった今回の福島、岩手、宮城の訪問でした。さらに「いつ訪ねてもいいんだ」と、遅かった自分に言い訳の出来る機会でした。（岡 修）



気仙沼 新しいビルと残された被災家

# 箕面ユネスコ協会の活動経過報告 NO10

## ■とどろみの森学園 5 年生 3 学期総合学習

### 『震災から学ぶ ～私たちにできること～』

とどろみの森学園の5年生は、この3学期「震災から学ぶ」をテーマに学習しています。箕面ユネスコ協会として東日本大震災をとおして、どうすれば、命のこと、現地の方々の思い、東日本の現状を自分たちの問題としてとらえ、考えていけるかを一緒に考えるため、被災地でのボランティアを続けて来たつばさ高校の生徒と一緒に参画しました。



次号で、箕面市立南小学校の取り組みを含め、詳細をご報告いたします♡

## ■萱野東小学校 5 年生総合学習 「つながりを見つめ直そう」

箕面市立萱野東小学校 5 年生は、1 年を通して「つながり」をテーマにした総合学習に取り組んでいます。3 学期は「人とのつながり」を考えます。東日本大震災の現実との出会いを通し「命の大切さに思いを寄せてほしい・ボランティア活動が紡ぐ力を知ってほしい」との願いを持ち、箕面ユネスコ協会として学習に参画しました。



### お知らせ

東日本大震災復興支援イベント～  
3.11 を忘れない～  
2016 年 3 月 13 日 (日)  
箕面市民活動センターにて  
聖母被昇天学院コンサート  
12:30～13:00  
気仙沼復興横丁(屋台)  
15:00～18:30

## 箕面ユネスコ協会からのお知らせ!

★ぜひ!ご覧ください★ ☆★★♪

### 子どもたちを学校へ

気軽に参加できる、「ダンス遺産ダンス」のムービー編「遺産を募金」に

<http://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードの3兄弟が、かわいいダンスと歌でご家庭に眠った「遺産」について呼びかけています!

### ★箕面ユネスコ協会総会のご案内★

日時: 2016 年 5 月 22 日 (日) 10:00～

場所: 箕面市立萱野小学校 3 階視聴覚室

- ・2015 年度 活動報告
- ・2015 年度 決算報告
- ・その他 ※ご参加お願いします。